



中核市
鳥取市



記者発表資料	
令和元年11月29日	
担当課 (担当者)	市民生活部地域振興課 (石原 裕也)
電話(内線)	0857-30-8173 (2428)

因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏 連携事業

すもう「麒麟のまち」ワーホリを実施します

～ 関西圏に在住の皆さん！冬の因幡・但馬もエエよ！～

因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏では、「① 圏域全体の経済成長のけん引、② 高次の都市機能の集積・強化、③ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上」を取り組みの柱として、鳥取県鳥取市・岩美町・若桜町・智頭町・八頭町、兵庫県新温泉町の6市町が連携して90から構成される事業を展開しています。その中で③の分野において、圏域への移住希望者等に対して合同でセミナーを開催するなど、移住人口増加を図るための圏域移住促進事業を実施しています。



圏域移住促進事業の1つとして、昨年度「すごい！鳥取市ワーホリ！麒麟のまち拡大版お試し体験ツアー」を実施したところ、大変ご好評をいただきました。

令和元年度においては、昨年までの流れを引き継ぎつつ、新たなワーホリ企画として『すもう「麒麟のまち」ワーホリ』を次のとおり展開することとします。



(1) 目的

関西圏在住者を主な対象として、「すもう麒麟のまちワーホリ」による体験や交流を通じて麒麟のまちを身近に感じていただく機会を提供することで、圏域内への一層の移住促進を図ります。

【今回のワーホリ企画の特徴】

- ☆ 関西圏在住者を主な参加者のターゲットとしていること。
- ☆ 各市町完全滞在型でのワーホリプランを設定していること。(1つの市又は町をじっくり堪能いただきます)
- ☆ “冬”の山陰・但馬の暮らしを体験していただくこと。

【圏域として取り組むねらい】

- ★ 市町単独ではなく、より広い圏域としての枠でのPRも効果的であること。
- ★ 移住先の選択肢の幅を広げるとともに市町間(生活圏)での相乗効果を生み出すことが期待されること。
- ★ 6市町が共通で「関西圏」の在住者をメインターゲットとしていること。
(鳥取市の場合、関西圏からの移住者は全体の4割超)

(2) 主催者

因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏（6市町）

《イベント管理運営：株式会社エムアンドエムドットコー》

(3) ワーホリ企画の概要

①ワーホリプラン	<ul style="list-style-type: none"> ● 麒麟のまち圏域の各市町のワーホリプラン（6コース／各市町の特色を活かした仕事・体験、地域・移住者との交流、食・地域の伝統体験を設定）を提供 ● 募集段階でコースを選択⇒参加者抽選⇒2泊3日の行程で体験・交流〔運営スタッフが同行（一部市町相談員等も）／各日の指定した集合場所から解散場所までの移動は、運営側で手配する〕
②催行日	令和2年1月中旬から3月上旬までの間で、6つのプラン毎に催行日（「金・土・日曜日」の2泊3日）を予め指定する。
③定員	各催行日4名程度
④費用	コース内での移動費用を除き、ワーホリに係る費用は自己負担（交通費及び宿泊費相当分の一部を支援金として支給）
⑤対象者	主に関西圏在住の者であって、麒麟のまち圏域への移住、また麒麟のまち圏域の暮らしに関心をお持ちの方（性別年齢不問）
⑥申込	特設サイト（ https://sumo-kirin.como/ ）応募フォームより（プラン・日程・参加者募集とも令和元年12月上旬公開予定）

※1) 麒麟のまち移住促進イベントの一環として、鳥取市シティーセールススペシャルサポーターの石浦関をゲストにお招きし、大阪市内において令和元年11月2日(土)「すもう麒麟のまち」(“すもう”は「住もう」と「相撲」を掛け合わせたもの)と称した移住セミナーを開催しました。(この度のワーホリ企画は、令和元年度麒麟のまち移住促進イベントの第2弾として実施するものです。)



※2) すもう「麒麟のまち」ワーホリの詳細については、12月上旬に公開させる特設サイトをご覧ください。次の各市町の担当課へお問い合わせください。

市町名	担当課(担当者)	電話番号
岩美町	企画財政課地域創生室(鈴木)	0857-73-1553
若桜町	ふるさと創生課(岡崎)	0858-82-2231
智頭町	企画課(谷口)	0858-75-4112
八頭町	企画課地方創生室(西川)	0858-76-0213
新温泉町	商工観光課(朝野)	0796-82-5625
鳥取市	市民生活部地域振興課移住定住促進係(石原)	0857-30-8173